

# 横浜市大 探査会・探検部OB会 設立の趣旨と会則の活かし方

～緩やかなOB会組織と最小限のルールを元にして～

幹事長（事務局）： 川尻 哲夫

2017年（平成29年）7月1日

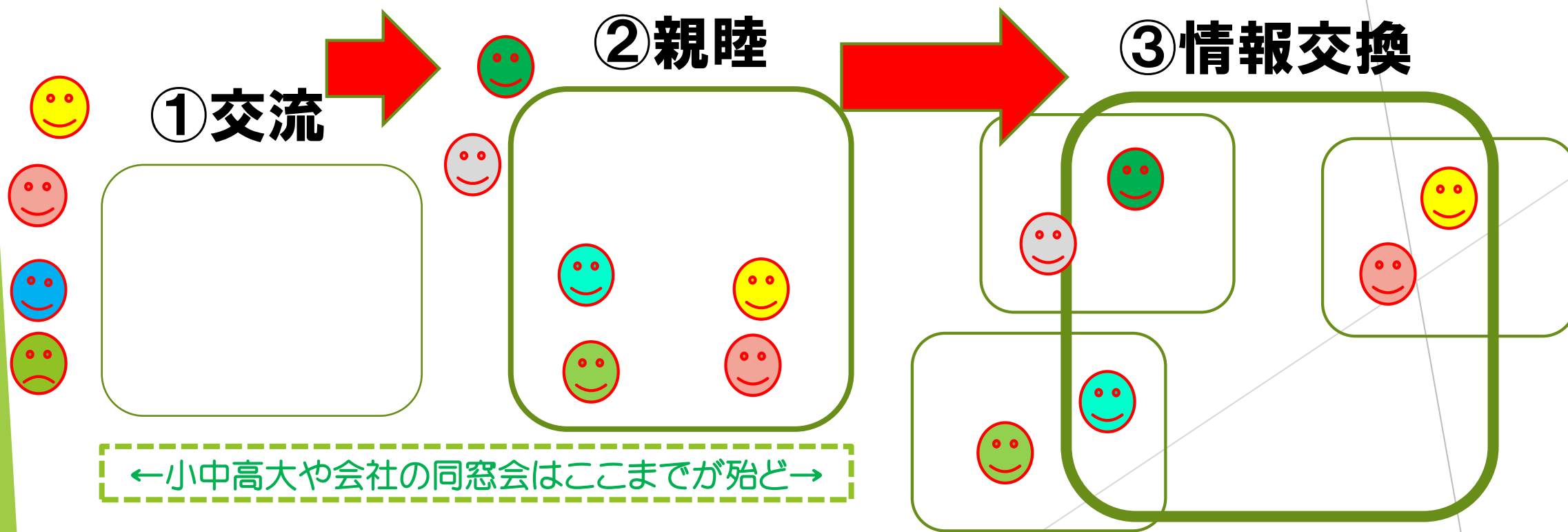
# 1. OB会の目的とは？

## その1：会員相互の交流、親睦、情報交換を図ります。

- ①**交流**とは、それまで接触がなかった会員同士が行き交うことを意味します。
- ②**親睦**とは、会員同士がさらに親しみを深めることを意味します。
- ③**情報交換**とは、仕事・趣味・家庭等で役に立つ情報を相互に交換し合うことを意味します。

旧「探検・探査の会」  
の場合は

## ③探検活動



## 2. OB会の目的とは？

その2：探検部現役部員の活動支援を行います。

① 資金援助

② 技術指導

### 現役の探検活動



③ 情報提供

④ 人脈活用

⑤ 救援活動

### 3. OB会会員とは？

- (1) 一度でも探査会・探検部に入部した者は、全てOB会の会員です。
- (2) 顧問等を務めた市大元教職員も入会資格者とします。
- (3) 山岳部OBで、入会を希望する者も入会資格者とします。



■中途退部者、中途退学者も会員資格者とします。

→**会員名簿に記載します。**

■現役部員が卒業すると、自動的に会員資格者とします。

→**会員名簿に記載します。**



但し、OB会が存続する限り

**探検部が存続して、入部者が続く以上、OB会会員は増加して行きます。**

## 4. 現在のOB会会員を階層・人数で見ると……

(D)役員(役員、幹事、相談役、顧問) **20人**  
(3点有りで、本人承認、3年任期)

そのために、  
役員が手分けする

(C)メーリングリスト会員 **約50人**  
(3点有りで、本人承認)

ここを増やして  
情報伝達を早くして  
事務量を減らす

(B)一般会員 **100人～150人**  
(①住所②電話③メルアド有り、又はいずれか無し)

この調査と  
記載作業が大変

(A)対象会員 **約240人**

## 4. 現在のOB会会員を**就業・年齢**で見ると……

### (A)60歳以上

定年後、年金生活が始まって、親の介護や就活を開始する世代

### (B)40歳～60歳

仕事、生活が一段落して、定年後の生活設計を考え出す世代

### (C)22歳～40歳

就職、結婚、子育て、昇進等で脂が乗っている世代

高齡化に伴い、対象者は減少して行く

1950年頃(創設期)～  
1975年頃迄に入部した世代  
(約110人・逝去した会員もいる)

(A)の世代へ移行して行く

1975年頃～  
1995年頃迄に入部した世代  
(約70人・活発な現役時代)

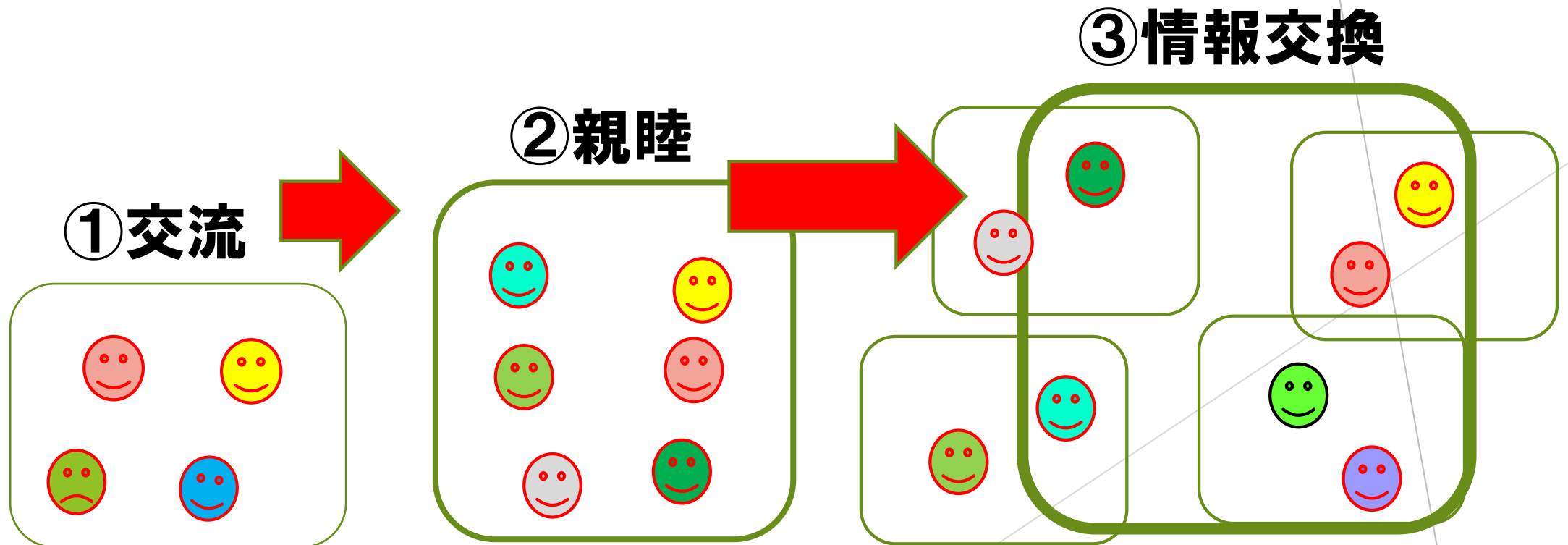
(B)の世代へ移行して行く

1995年頃～  
2010年頃迄に入部した世代  
(約50人・連絡先がつかめない世代)

## 5. OB会活動の活発化によって得られる個人のメリット

(1) 年齢を重ねれば、誰しも体力は衰え、人との接触機会も減少し、孤独感が増大する。  
そこで、①→②→③を**活発化**させることで、残された人生に活力を吹き込む。

(2) いずれ**終活**に取り組む時が来るので、青春の一コマを探検部の記録に残しつつ、  
**現役の活動を支援する役割を果たす(＝終わる)**。





## 6. では、どうすれば①→②→③は活発化できるのか？

### (1) WEBサイトでの情報発信を強化する

①記録の保存・整理 ②個人会員のサイトとのリンク ③現役の活動を発信(リンク) ④…

### (2) 年1回の総会で、「私のライフワーク」の発表を継続して、会員の参加者を増やす。

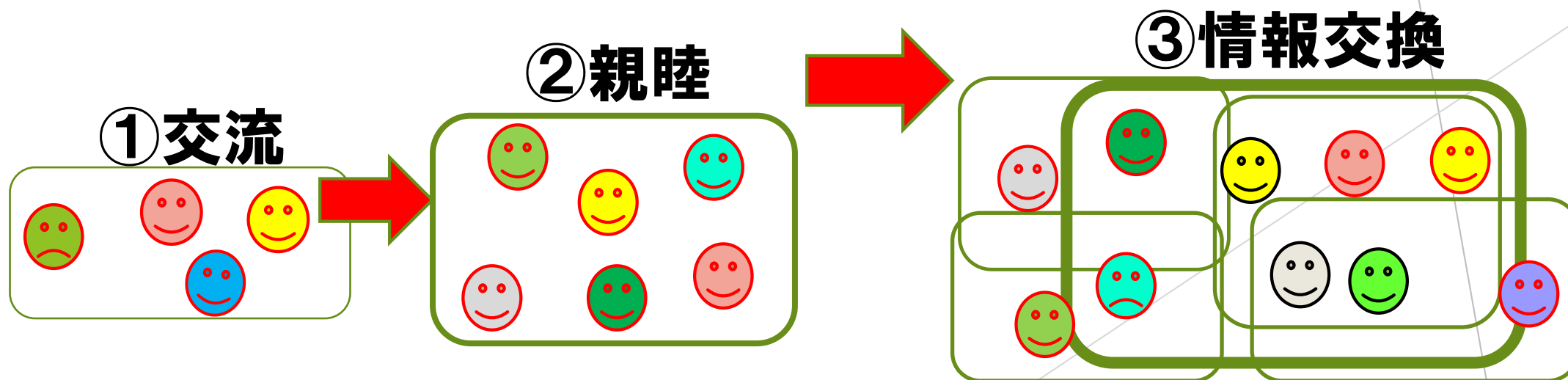
①一期一会の気持ちで参加。会員同士の意外な接点を発見。 ②継続して、発表者の自薦・他薦を促す

### (3) 会員名簿の整備とメーリングリストメンバーの拡大を図る。

①C・B世代の消息を掴んで、できるだけ多くメーリングリストに加入してもらう。 ②山岳部との交流を図る。

### (4) 海外に詳しく、ツテのあるOBが企画する海外旅行会を実施する。

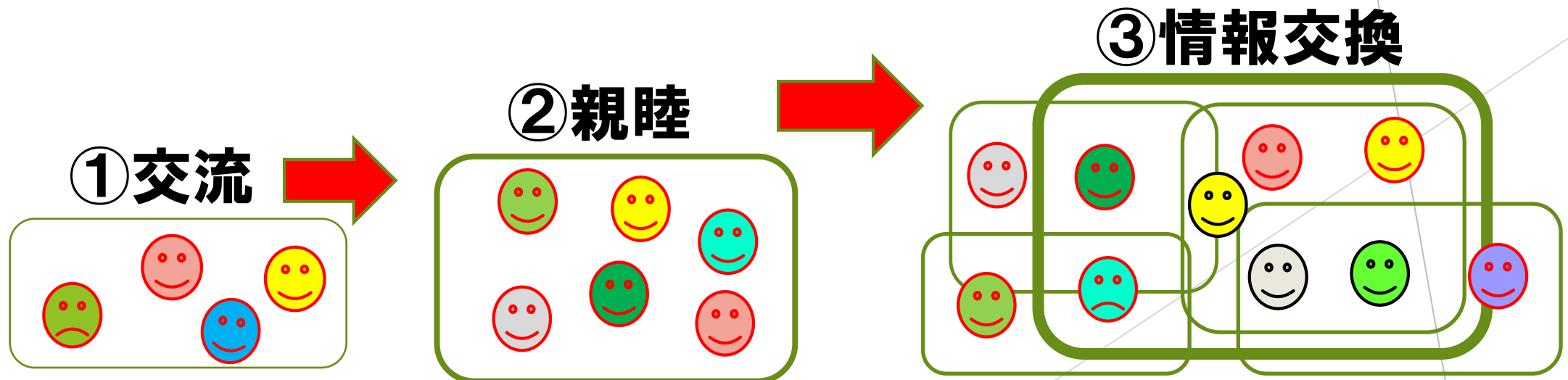
①2年に1回、台湾、フィリピン、ベトナム、中国等をOBの案内で旅行する ②海外情報を現役の活動に生かす





## 7. 活発化のために、OB会が取り組む管理上の最小限の仕事・ルール

- (1) 役員の総会への積極的参加と出欠連絡の徹底(来年は5月下旬開催)。
- (2) 役員自らが寄付金を払う(役員にとっては“拠出金“であることへの理解)。
- (3) 寄付者全員の氏名をWEBサイトの固定ページに掲示する(感謝の表明)。
- (4) 協賛企業をあと1社増やして、財源を安定化する。
- (5) 経費の節減とガラス張りの資金管理。



## 7. 話変わって、1970年前半世代（通称:青春の会）は、こんな旅行会をやって来ました。

第1回 2013年2月 ＜東京＞ 幹事：小島広海	第2回 2015年7月 ＜宮城＞ 幹事：禅洲茂	第3回 2017年6月 ＜岐阜＞ 幹事：長瀬松男	第1回 海外旅行会 2018年	第4回 2019年 ＜静岡＞ 幹事：松下明	第2回 海外旅行会 2020年
<ul style="list-style-type: none"> <li>●柴又帝釈天</li> <li>●東京スカイツリー （9名参加、 内1名先輩OB）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●松島</li> <li>●仙台（青葉城） （9名参加、 内1名先輩OB）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長瀬実家</li> <li>●飛騨高山</li> <li>●白川郷 （9名参加、 内3名先輩OB）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●秘密だそうです</li> </ul>	
					
					

以上は幹事長として、会則をまとめ、運用するにあたっての  
個人的な考え方を記しました。

要は、OB会を活発化することで、  
**2つの人生目標**につながれば幸いです。

- ①豊かな人脈の形成と活力のある人生を生き抜く。
- ②現役の活動を支援することで、市大探検部が大きな活動実績を残す。

それでは、役員全員の自己紹介に入りましょう。  
その後に、主幹事による進捗状況と問題点の協議に入ります。